

【記者からの質問】 8月25日

<西九州新幹線開業1年について(その1)>

読売新聞/県内への開業効果をどう評価するか。また、課題があれば教えてほしい。

知事/全国のキャンペーンにうまく乗り、宿泊稼働指数も上位を維持している。官民一体で取り組んだ効果だと思う。武雄、嬉野への長崎からのお客さんが増えた。

課題は人手不足。コロナの間に転職した人をどう取り戻すか。アルバイトやパートを集めるのも苦労している。全国的にインバウンドが回復し、9月には九州佐賀国際空港の上海便とソウル便が再開する。外国観光客を受け入れるソフトの問題が課題だ。

コロナの間に、県が高付加価値型の旅館改装に補助金を出した。そのため、1件当たりの単価が上がり、利益率も上がって評判がいい。コロナの苦しい時期に、施行してよかった。人手不足は今までにない課題。これまでと違う対策が必要だ。

読売新聞/新鳥栖-武雄温泉間の「幅広い協議」は、今年2月に1回開催されただけで進展がない。嬉野市議会議長から、フルを前提に国と協議を進めてほしいとの意見が出た。新鳥栖-武雄温泉間に対する考え方、今後の展開に期待することを教えてほしい。

知事/鉄道局が、自信を持って開発できるとしていたフリーゲージトレインが、できなかったことが全ての発端。それは、国も認めている。フリーゲージトレインが、佐賀駅を通っていたら、この問題はなかった。これが大前提。

現在の佐賀駅を通る長崎本線の鉄道環境は良い。1時間に5本程度の特急、普通列車が新幹線と接続する新鳥栖まで運行している。武雄温泉からも同様。

新鳥栖-武雄温泉間は、今の計画では、地元持ち出しが1,000億円以上。重くのしかかる財政負担と今までの経緯を考えると、こちら側から打開する話ではない。

新たな発想で、佐賀県が将来の夢を描けるような話があれば、やぶさかではない。新幹線開通で、長崎県は時間短縮効果、JRは営業成績が上がった。しかし、佐賀県は鹿島、太良地域が痛手を受けている。これを打開するような話も出ていない。いつでも「幅広い協議」のテーブルにつくつもりだが、2月以降、国からの話はない。

読売新聞/在来線の利用者に話を聞くと、在来線の利便性の維持を望む声のほかに、新

幹線フル規格のアセスルートや空港に近いルートへの要望が出ている。こういう議論をどう見るか。

知事／新幹線は、佐賀県の将来に大きな影響を与える事業。財政負担だけで千何百億円かかり、これを財政計画の中に入れるとほかの仕事ができない。

また、新幹線の影響を受け、在来線の利便性が悪くなってしまったら、元には戻れない。単に乗換えはない方が楽だといった軽い気持ちではなく、そのようなことも含め、話し合ってほしい。

<ビッグモーターについて>

読売新聞／ビッグモーター佐賀大和店前の街路樹枯死問題への知事の受け止めを。

福岡県は、散布した事業者への損害賠償を求める話も出ている。佐賀県の対応は？

知事／この問題は、肅々と対応していく。県が整備した街路樹がなくなり、除草剤が検出されたので、8月22日に被害届を提出した。今後は、警察に捜査を任せ、その結果に応じて対応する。

<全国知事会長の交代について>

時事通信／全国知事会の前会長 平井知事への評価と、新会長 村井知事に期待することを教えてほしい。

知事／平井知事は、コロナ禍に臨機応変にオンラインで会議を開催するなど、難しいかじ取りをしていただいた。47の知事が1つになって対応するのはいいこと。

ただ、注文をつけるなら、知事は各県の県民の支持を得た政治家。個性を尊重しながら、改革をしていく部分を打ち出してもいいと感じる。まとまって行動するときと、個性が発揮できる部分があるよう、今後の村井知事に期待したい。

<中国での水産物の全面禁輸について>

NBC／福島処理水の海洋放出で、中国が水産物の全面禁輸を打ち出した。有明海のビゼンクラゲは中国への輸出額が推計25億円、夏場の貴重な現金収入になっている。県の水産部局がクラゲの生態調査に乗り出し、安定してとれるようになる研究が始まった矢先に禁輸になった。漁業者のなりわいを守るために、県としてできることがあるの

かどうか。

知事／科学的知見、分析が大事。トリチウムは、WHOの飲料水基準の1／7で放出している。情報を共有し、風評被害がないよう訴えたい。

今まで、ヒゼンクラゲを大きく取り上げていなかった。今後、課題の整理をしたい。

<「関係するアート展 vol.3」の延期について>

共同通信／22日の開催予定が、当日の朝になって延期が発表され、24日から開幕した。2日も延期になり、来場者への影響が出たにも関わらず、延期の理由を公表しない理由は何？

知事／展示の中に検討が必要な部分があると、前日の夜に分かった。一般のお客様の受け止めに関し、慎重に対応するため、検証に時間がかかった。来場者の皆さん、出展者の皆さんにおわび申し上げます。

今後は、早い段階でチェックしたい。今回は問題ないと整理がつき、予定通り発表した。どこが検証対象なのかを説明する必要はないと判断した。

共同通信／特定作品を公表しないにしても、議論になった理由を説明しないのは、県民に対して不誠実ではないか。

知事／予定通り全部展示している。しかるべき時期に議論した内容を公開するが、展示中に話す予定はない。

<西九州新幹線開業1年について（その2）>

佐賀新聞／リレー方式の運行状況への評価を教えてください。

知事／一般的に乗換えは、ない方がいい。しかし、そこまで不便ではないという意見が多い。嬉野温泉には、できる限り停車するダイヤを希望する。鹿島、太良方面のダイヤ接続も含め、さらに精査すべきだと思う。

JRとは、リレー方式を活かす形で関係を進めたい。佐賀以西間のICカードの利用が可能になったり、サガハツの運営など、より良い環境をつくっていきたい。

< 県立大学について >

佐賀新聞／9月に出る県立大学のたたき台には、定員や学部の名前があるのか。設置場所は、いつ発表するのか。

知事／議会に提出できるよう、たたき台をつくっている。人数や学部の名称など骨格のようなものの案を出す。それを基に議会で議論をしたい。

場所より機能が大事で、場所はそこからおのずと導き出されるものだと思う。

< 西九州新幹線開業1年について（その3） >

NHK／新幹線の課題の中で、人手不足とあった。具体的に何か。

知事／旅館、ホテルの人手不足。新幹線効果でお客さんが増えたのに、人手不足で宿泊施設の稼働する部屋が限られるという話。

< オスプレイについて >

朝日新聞／昨年6月の米軍の事故に関する防衛省側からの報告が、23日に県のホームページにアップされた。800時間をめどに部品交換すれば問題はクリアできる。しかし、根本的な原因は不明なので、新しい部品の作製の推奨・勧告が、米国内で上がっているとの記載。運航再開のための防衛省からの報告だと推察する。一定時間を超えると部品に問題が出る可能性があり、かつ根本原因が不明でありながら、運行再開する流れをどう評価するのか。

知事／陸上自衛隊は、丁寧に対応していると思う。アメリカの海兵隊のV機は、通常運航している中で、自衛隊のV機は運航を停止した。調査報告書が米軍から出され、それが適用されていると連絡を受けたので再開するとのこと。1つ1つ丁寧にご対応いただき、今後もそう願いたい。

朝日新聞／木更津市は、防衛省側との話の内容や経緯までをホームページで分かりやすく情報開示している。佐賀県でも取り入れるべきでは？

知事／九州佐賀国際空港の中に駐屯地ができ、関心を呼んでいる。情報発信のあり方は、木更津市を参考に、基地のあるまちとして情報発信に心がけなければいけない。常にホームページにアップできる体制をつくる努力をする。

朝日新聞／工事の進捗や交通の問題は、佐賀市が中心になるとはいえ、県の方では取り上げていない。排水対策の状況は、積極的に示す必要がある。どうお考えか。

知事／工事や交通の問題は、佐賀市が中心に対応し、県は注視する立場。問題があれば対応する。

排水問題は、県として責任を持って防衛省、漁協と取り組む。協議の内容は、できる限り公開し、意見を募りながら進めたい。

<九州新幹線西九州ルートについて>

朝日新聞／整備新幹線の考え方は、地元から建設の要望が出て、地元がお金を出しつくるといふもの。その在り方が、時代に合わなくなっているのではないか。

知事／整備新幹線の考え方は、おっしゃるとおり。佐賀県は、スーパー特急、フリーゲージトレインならと手を挙げた。フル規格には、手を挙げていない。

財政的な問題を抱えながら、高速交通網がどれほど意義のあるものなのか、国土をどうつくっていくのか、何が本当の豊かさなのか、といった観点で立ち止まって考えることも大事ではないか。一度できた制度を変えられないのが、日本の課題でもある。整備新幹線計画を検証する意義があると私は思う。

朝日新聞／佐賀県の立場には、共感するところがある。しかし、既に長崎から武雄温泉までを新幹線が走っている。この事実がある以上、つながってほしいという声が出る。私は9月から長崎勤務になる。佐賀県の考え方をどう伝えたらいいか。

知事／隣人だから、お互いの考えに耳を傾けてほしい。私も長崎県庁にいたので、長崎県のことを思ってやっている部分が多い。当時、佐賀県は長崎県のためも考えて、この短絡ルートを決断したのだろう。大村に駅ができ、空港とつながり、30分時短できた。今回の新幹線整備で長崎は大きな利益を得た。一方、鹿島、太良地区は不便になった。それでも負担金を払っている。

長崎県民は、さらに速くと思うでしょう。そのとき、佐賀が長崎の1.5倍を負担する事実を考えてほしい。それが、隣人のことを思う姿勢ではないだろうか。

長崎に行かれたら、佐賀県の置かれている状況を説明した上で、どうあるべきかを議論していただきたい。

朝日新聞／長崎－武雄温泉間がつながり、長崎県は観光的に、武雄・嬉野という良質の温泉地を手に入れたのだと思う。

知事／現状で、かなりのものを得ていると思う。長崎県が、フル規格を望む気持ちは分かる。であれば、佐賀県が満足できる答えになるよう後押ししてもらうしか道は見いだせない。単に、声を上げるだけで解決する課題ではない。

<令和5年7月吸収北部豪雨災害に伴う激甚災害指定について>

サガテレビ／浜玉町の土砂崩れが、激甚災害の指定を受ける見込み。知事の受け止めを。
知事／激甚災害の指定をいただくと、支援も手厚くなり、国と県で対応がしやすくなる。本当にありがたい。特に、今坂地域は、早く工事を進めたいので歓迎する。

<公明党石井幹事長の発言について>

サガテレビ／公明党の石井幹事長が、森友学園問題と自然災害を比較する発言があった。知事の受け止めを。
知事／私も政治家で、言葉を選びながら発言している。慎重に発言をすればいいのと思うが、言葉の端々を批判するのは好きではない。今回のことは、さほど気にしていない。

<326（ミツル）さんの一部報道について>

サガテレビ／326さんの女性問題の報道があった。県として、国スポイメージソングの変更など、検討しているのか。
知事／個人の問題なので、全く考えていない。